

新年あけまして

おめでとうございます



皆さまには、おだやかなお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

早いもので、黒潮町が誕生して3回目の新年を迎えました。新しいまちづくりも合併当初の混乱期を乗り越え、やがて新町としての一体感を感じるようになりそうです。

まちづくりの大きな課題についても、各種事業や制度など多くの部分で統一または一本化が進みました。また、統合保育所の建設や佐賀地域における高規格道路関連事業と国道56号大方改良なども進捗しています。

さらに、庁舎の移転や消防署の移転についても、まもなく具体的な計画が示せるものと思えます。

そして、情報通信基盤整備事業につきましては、これらの地域にとって欠かせない、最も基本的な社会基盤であるとの考えから推進して行きます。どうかご理解ご協力をお願いいたします。

このように徐々に新しい町が形づくられてきておりますが、一方では、町民の皆さまには、まだまだ合併効果の実感には乏しく、いろいろな不安を抱かれておられる方々もあるかと思えます。私たちは、

そういった不安が解消され、明るい希望になるように、精一杯がんばらなければならぬと思っております。

さて、昨年の元旦に、原油価格が一バーレル一〇〇ドルを突破したというニュースが飛び込んで以来、ガソリンをはじめ燃油価格やあらゆる食材資材が高騰し、地域の暮らしや産業に大きな打撃を与えました。それにもまして秋には、アメリカ発の金融危機が発生し、いまや一〇〇年に一度といわれる経済危機が世界を覆いつくしています。

不況から脱しきれないなか、つた私たちの地域では、産業や暮らしに計り知れない影響を及ぼすものと考えざるを得ません。

このようなことから、行政としても産業や組織への支援に加えて、町民の皆さまの生活防衛や暮らしへの直接的な支援策を講じる必要を感じています。

このような状況ではあります。持続可能な地域社会の構築を目指して、町民の皆さまと力をあわせて、創意工夫を凝らしながら、さまざまな課題を克服し、未来への展望を開いて行かなければなりません。

町民の皆さまには、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまにとりまして今年がよい年でありませうとご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

平成21年1月吉日

黒潮町長 下村 正直



定額給付金の給付をよそおった「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください

今般、与党において決定された「定額給付金」については、住民のみなさまへのご連絡や給付を行う段階ではありません。具体的な給付の方法などが決まり次第、速やかに広報いたします。

- 役場や総務省などがATM(銀行・コンビニなどの現金自動預払機)の操作をお願いすることは絶対にありません。
- ATMを自分で操作して、他人からお金を振り込んでもらうことは絶対にできません。
- 役場や総務省などが「定額給付金」給付のために手数料などの振込を求めることは絶対にありません。
- 現時点で、役場や総務省などが住民のみなさまの世帯構成や銀行口座の番号などの個人情報を照会することは絶対にありません。

ご自宅や職場などに役場や総務省(の職員)などをかたった電話がかかってきたり、郵便が届いたら、迷わず、役場や警察署(駐在所)または警察相談電話(#9110)にご連絡ください。

総務省